

Rotary International  
2009~2010



ロータリーの未来は  
あなたの手に

# 中村ロータリークラブ 週報(2009~2010)

会 長/佐 竹 義 典	創 立/昭 和 3 8 年 1 0 月 2 日
幹 事/荒 井 浄	例会日/水 曜 日 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0
会報委員長/黒 石 伸 二	例会場/新 ロ イ ヤ ル ホ テ ル 四 万 十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
	TEL(0880)35-4551 FAX(0880)35-4553
	●ホームページ <a href="http://www.nakamura-rc.com/">http://www.nakamura-rc.com/</a>

週報 No.2158

第2289回 平成21年3月3日(晴れ)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 植田英久様  
3月10日のプログラム：会員スピーチ 大塚和助会員  
3月17日のプログラム：野外例会(いやしの里 楷の木)

## 【ビジター】若重直義様(高松RC)

### 【会長挨拶】佐竹会長

・卒業とか異動とか、忙しい弥生3月となりました。まずは、本日のゲストスピーカーを紹介させていただきます。植田興業社長の植田英久さまです。後ほど、卓話をお願いします。

・うれしいお知らせがあります。当クラブは新春から縁起が良く、1月6日の新年会では池田道一さん、2月3日の節分の日には嶋村さん、そして本日3月3日のひな祭りにふさわしく仲間が増えます。佐田博さんです。

## 【幹事報告】荒井幹事

・ガバナー事務所より

①第101回国際ロータリー年次大会「日本人親善朝食会」の案内

②ガバナー月信No3(全員配布)

③「友」インターネット速報No418

・地区大会実行委員会より地区大会についてのお願いと案内

駐車場、会場、受付、各行事、お弁当についての案内を地区大会出席者には配布しますので、目を通しておいってください。日程詳細については来週配布します。

・四国電力よりライト&ライフ3月号

・四万十川自然再生協議会通信9号拝受



## ● 本日のプログラム

### ゲストスピーチ 植田英久さん（植田興業代表取締役）



#### 「第12回ジョン万次郎祭りに参加して」

こんにちは。本日は、昨年10月、マサチューセッツ州フェアフェブンで行われたジョン万次郎祭りに参加した報告をします。

なぜ、私がこの祭り（の交流会）に参加するようになったかについて、述べます。20年前に商工会議所青年部でアメリカの流通業界の視察に行ったのですが、丁度、その年に土佐清水市とフェアフェブン、ニューベッドフォードがジョン万を縁に姉妹都市提携をした。視察の途中のニューヨークで「我々にとって重要なところ（提携先の姉妹都市）がすぐ近くにある」と分かり、幡多地域出身の私を含めた4人が、急ぎよ、そこを訪問することにしたのです。土佐清水市の交流委員会から連絡していただいたので、フェアフェブンでは、市民らに大変な歓迎を

受けました。それがきっかけで、ジョン万交流会への参加の必要性を知ることになったのです。

ジョン万交流会がどのような経過で開かれるようになったかは、お配りしているパンフ「万次郎トレール（足跡）」をご覧ください。今から約170年前の1841年に、万次郎とホイットフィールド船長が出会い、人間愛と友情で結ばれ、（万次郎が）アメリカで高く評価されていることが理解できるでしょう。

また、お手元の別の資料、この祭りに際して発表された「ホイットフィールド・万次郎フレンドシップ ソサエティー（友好協会）」のロニー会長や、ホイットフィールド船長の5代目、ロバートさん、万次郎の直系5代目の中浜京さんのメッセージを読みますと、2人の親交をはじめ、交流事業への住民の思いがよく分かります。特に、両家は、170年近く、時代と太平洋を越えて、つまり、時と距離を超越して、互いに尊敬し合い、交流を続けてきています。「日米の通商の始まり」ともいえる両家の交流を、もっと市民ぐるみで深めていくことが大切だと、多くの人が理解したことが交流会の始まりということです。



フェアフェブンの人たちは、初めてアメリカを訪れた万次郎を大切に思っています。土佐清水市では万次郎がお世話になったところとして感謝しながら交流しているのがよく分かります。

最初の交流は、高校生がホームステイしながらの相互訪問や少年野球大会などでした。12年前から、フェアフェブんと土佐清水市が交互に万次郎祭りを開いてきています。去年は、フェアフェブンの回りだったので、私にも声が掛かり、向こうに出向きました。船長の旧家も、日本からの寄付で「友好記念館」として補修、復元されました。盛大な祝賀会が行われ、さらに大きな交流に発展することを願って、従来の交流母体「姉妹都市委員会」の名称を「ホイトフィールド・万次郎友好協会」に改め、今回の万次郎祭りが行われたわけです。

祭りは、近隣の州から大勢の人が参集。会場は、盆栽や生け花が展示され、着物や扇子を販売する店のほか、寿司や焼きそばの屋台が並んでいました。居合い道や空手、柔道、剣道のエキシビジョンも披露されるなど、至るところで日本文化を紹介していました。そんな中で、日本文化を理解したい、アメリカにもっと日本文化を紹介したいというアメリカ人の多いのに驚きまし

た。我々もそれに答えるべく、ジョン万を中心にした日米交流の輪を広げなくてはならないという思いを強くしたことでした。

この交流が、土佐清水にとどまるのではなく、幡多郡一円、近隣の県も巻き込んだ大きな事業になるように、中村RCの皆さんにも、ご支援をお願いしたいと思います。

今年は、土佐清水市でジョン万祭りが開催されます。現在、10月ごろの完成を目指して万次郎の生家の復元を寄付金で賄うべく取り組んでいます。それにも協力していただければ幸いです。今後、中村RCが、アメリカのRCと交流拡大に努め、盛大な交流に発展させていただければ、大変ありがたく思います。

もっともっと話させていたいただきたいのですが、時間の関係でこの辺で終了させていただきます。本日はありがとうございました。



【新会員ご紹介】 推薦者／杉本一博会員

氏名：佐田博（さだ・ひろし）  
生年月日：昭和42年2月1日  
勤務先&役職：刈谷建設（株）代表取締役  
学歴：熊本工業大学工学部土木工学科卒業  
職業分類：土木建築  
趣味：ゴルフ  
四大奉仕：新世代活動奉仕委員会  
クラブ奉仕：親睦委員会



■佐田新会員のあいさつ

佐田です。4年前から、青年会議所（活動）でお世話になっていた杉本先輩に「ロータリーに（入会を）」とお誘いいただいていたのですが、JC活動も忙しく、家業と家庭にもサービスしないといけないということでしばらく猶予してもらってました。早速、野球部にも入部させていただきました。甲子園大会が今年で最後と聞き、その地を踏んでみたいと思い、入会しました。これから、ロータリークラブのことも勉強しないといけないと思っています。皆さん、ご指導よろしくお願ひします。

【ニコニコ箱】

白木(一)会員：ニコニコが少なそうなので、、、。  
稲田会員：佐田君 ご入会おめでとうございます。  
大杉(幸)会員：例会場では優しい顔の本田会員ですが、、、  
治療室で見る本田会員の顔は。。。。です。

【出席報告】

- ・会員総数/47名
- ・本日の出席/35名 76.09%
- ・先週の訂正 MU5 73.33%→86.67%



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているととえることができます。

2009-10年度国際ロータリー会長 ジョン・ケニー